

水害による都道府県別被害額

1. 識別情報

名称	水害による都道府県別被害額
DOI	doi:10.20783/DIAS.627 [https://doi.org/10.20783/DIAS.627]
メタデータID	FLOOD_4GCM_2RCP_1P20221122154118-DIAS20221121113753-ja

2. 問合せ先

2.1 データセットに関する問合せ先

名前	中畠 一憲
組織名	兵庫県立大学
住所	日本, 6700092, 兵庫県, 姫路市, 新在家本町1-1-12
電話番号	+81-79-292-9412
ファクシミリ番号	+81-79-292-9412
電子メールアドレス	nakajima@shse.u-hyogo.ac.jp

2.2 プロジェクトに関する問合せ先

2.2.1 データ統合・解析システム

名前	DIAS事務局
組織名	国立研究開発法人海洋研究開発機構
住所	日本, 236-0001, 神奈川県, 横浜市, 金沢区昭和町3173番25
電子メールアドレス	dias-office@dias.jp.net

3. ドキュメント作成者

名前	中畠 一憲
組織名	兵庫県立大学
電子メールアドレス	nakajima@shse.u-hyogo.ac.jp

4. データ作成者

名前	中畠 一憲
組織名	兵庫県立大学
電子メールアドレス	nakajima@shse.u-hyogo.ac.jp

5. ドキュメント作成年月日

2022-11-22

6. データ作成年月日

creation : 2020-11-16

7. データセット概要

7.1 序論

2031～2050年において、4つのGCM (MIROC5, MRI-CGCM3, GFDL, HadGEM2-ES) および2つのRCP (RCP2.6, RCP8.5) による、都道府県の水害被害額を収録しています。

7.2 トピックカテゴリ (IS019139)

economy

7.3 時間情報

開始日	2031-01-01
終了日	2100-12-31
時間分解能	Annual

7.4 地理的範囲

北限緯度	46
西限経度	122
東限経度	154
南限緯度	20

7.5 グリッド

7.6 地理情報を識別する名称

7.7 キーワード

7.7.1 データセットに関連するキーワード

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	Terrestrial Hydrosphere > Surface Water > Floods, Human Dimensions > Natural Hazards > Floods	GCMD_science
theme	POLICY SCIENCES > Benefit-cost analysis, POLICY SCIENCES > Regional planning	AGU
place	Asia > Eastern Asia > Japan	Country

7.7.2 プロジェクトに関連するキーワード

7.7.2.1 データ統合・解析システム

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	DIAS > Data Integration and Analysis System	No_Dictionary

7.8 データセットに関するオンライン情報

ファイルダウンロード : <https://data.diasjp.net/dl/storages/filelist/dataset:627>

7.9 データ周辺情報

シート名「Damage」は都道府県別被害額（単位： 億円/年）を、シート名「Pref_Code」は都道府県コードをそれぞれ表す。配布手段はExcelファイルである。

7.10 データ配布情報

配布識別名	配布バージョン	配布に関する説明
Excel	ver1	

8. 系譜情報

9. 品質等

10. 利用規約

10.1 データ提供者によるデータ利用規約

1. 本データセットの利用は非商用に限ります。
2. データ提供者は、本データセットを利用したことによって発生したいかなる損失、損害に対して責任を負いません。

10.2 プロジェクトによるデータ利用規約

10.2.1 データ統合・解析システム

データ提供者がデータ利用規約を定めていない場合は、DIASサービス利用規約 (<https://diasjp.net/terms/>) およびDIASプライバシーポリシー (<https://diasjp.net/privacy/>) が適用されます。

DIASサービス利用規約とデータ提供者によるデータ利用規約に齟齬がある場合は、データ提供者によるデータ利用規約が優先して適用されます。

11. ライセンス

12. 謝辞の記載方法

12.1 データ提供者の指定による謝辞の記載方法

12.2 プロジェクトの指定による謝辞の記載方法

12.2.1 データ統合・解析システム

このデータセットを利用して学会発表，論文発表，誌上发表，報告などを行う場合は，以下を参考に謝辞を記載すること。また，データ提供者が示す謝辞の記載方法がある場合は，それも併記すること。

“ 本研究では，[データ提供者の名称]が提供する[データセットの名称]を利用した。またこのデータセットは，文部科学省の補助事業により開発・運用されているデータ統合解析システム(DIAS)の下で，収集・提供されたものである。 ”

13. 参考文献

未発表

Copyright(c) 2006-2021 Data Integration & Analysis System (DIAS) All Rights Reserved. This project is supported by " Data Integration & Analysis System " funded by MEXT, Japan
--